

2021年6月9日

各 位

## 会長就任挨拶

一般社団法人日本アルミニウム協会

会長 木村 良彦

(三菱アルミニウム株式会社 代表取締役社長)

この度、岡本前会長の後を受け、令和3年度の会長に就任致しました木村でございます。

昨年度は新型コロナウイルスによる緊急事態宣言の影響などで個人消費が落ち込み、経済活動が大きく低下した一年でした。内閣府が5月18日に発表した2020年度の実質GDPは前年度比4.6%減で、リーマンショックに見舞われた2008年度の3.6%減を上回り、戦後最大の減少幅となりました。感染拡大に伴う外出自粛や自動車生産の停止などにより、アルミ圧延業も大きな影響を受け、底であった前年5月は前年同月比で▲23.7%と大きく落ち込みました。昨年秋以降、自動車生産の回復などによりマイナス幅は縮小し、アルミ圧延品出荷量は2021年2月から3ヶ月連続プラスとなり、4月は前年同月比で+11.5%と二桁プラスとなるなど明るい兆しも見え始めてきました。

一方、海外に目を向けますと、ワクチン接種や行動制限などで経済活動の正常化に向けて動き出している国がある一方、新規感染者数が拡大している国もあり、依然として予断を許さない状況が続いております。更に、米中間の貿易をめぐる争いや世界的な半導体の供給不足、アルミ関連では、中国の生産設備の過剰問題や中国からのアルミ圧延品の輸入増加など、楽観できない要素は枚挙にいとまがありません。

こうした中、長い歴史と伝統のある団体の会長に就任し、身の引き締まる思いでございます。

協会活動としましては、3本柱であります「新規需要の開拓」「広報活動の強化」「人材育成」に注力するのは言うまでもありませんが、昨年9月に策定しました「アルミニウム VISION2050」に掲げた構想を実現に移していくという意味で、ビジョン実現に向けた具体的な取り組みにも注力したいと考えております。

一つ目は資源循環（リサイクル）への取り組みです。アルミ展伸材における循環アルミ使用率 50%を目指すために、この課題解決の受け皿として昨年 12 月に「アルミ循環委員会」を設置致しました。委員会傘下に「自動車」、「アルミ缶」、「スクラップ見通し」の 3 つの分科会を立上げ、需要分野毎に循環アルミの使用率向上の課題を明らかにするとともに、課題解決の仕組み作りを検討していきたいと考えております。当協会では、以前より CAN to CAN、近年では新幹線 to 新幹線 など、水平リサイクルに注力して参りました。さらに product to product の水平リサイクルシステムの範囲を拡大、構築することは CO<sub>2</sub>削減にも繋がり、大変意義があると考えております。

二つ目は地球温暖化対策への取り組みです。昨年 10 月、菅総理大臣は、2050 年までに温室効果ガスの排出を全体として実質ゼロにする、2050 年カーボンニュートラル、脱炭素社会の実現を目指すことを表明されました。更に今年 4 月には 2030 年までに温室効果ガスを 2013 年度比で 46%削減することを目指すことを表明し、世界でも同様の動きが加速しております。当協会では、昨年 3 月に「アルミニウム圧延業界の温暖化対策長期ビジョン（2050）」を発表し、地金を含む展伸材製造時の CO<sub>2</sub>削減について、2050 年には最大で 2017 年比で 78%削減するとした長期的な方向性を示しており、この長期ビジョンをもとにカーボンニュートラルに向けた取り組みを始めたいと考えております。

三つ目は技術革新への取り組みです。展伸材において循環アルミ（リサイクル材）を利用可能とするために、「不純物元素低減技術」と「微量不純物無害化加工技術」の開発からなる技術革新により、アルミニウムの資源循環に関する新たな技術体系を確立していく所存です。

こうした取り組みに加え、アルミニウムの特性や長所を世の中に知っていただくため、昨年よりツイッター、フェイスブックなどソーシャルメディアを通じた情報発信を積極的に活用しております。消費者に身近なアルミ缶を題材に新商品やトピックスを紹介し、少しでもアルミニウムのファンを増やしていければと考えております。

幸い、アルミニウムには追い風が吹いております。プラスチックごみによる海洋汚染の問題を契機として、優れたリサイクル性を有するアルミニウムの特性が注目され、プラスチック容器をアルミ缶に切り替える変える動きが出つつあります。リサイクル性以外にも軽量性、耐食性、加工性という長所を改めて世の中に訴求することで、アルミ産業の存在意義を高めたいと考えております。

新型コロナウイルスの感染防止に万全の注意を払いつつ、これから1年間、会員の皆様、関係省庁、ユーザー業界、大学の皆様のご指導をいただきながら、水口副会長、今泉副会長と力を合わせ、アルミ業界の発展のため、誠心誠意取り組んでまいる所存です。

最後になりましたが、皆様のご健勝と業界の益々の発展を祈念いたしまして、会長就任のご挨拶とさせていただきます。

以 上